

創造・参加・実践

No.443

2025年8月22日

JR西労組ひろしま

西日本旅客鉄道労働組合
 広島地方本部
 発行責任者 石松 大介
 編集責任者 好永 惇弥
 広島市東区上大須賀町 16-1
 新幹線西高架下 3F
 NTT (082) 261-6614

第37回定期中央本部大会を開催!

安全を基礎に組織の力を高め、明るい未来を創ろう!

JR西労組中央本部は、7月16日(水)〜18日(金)、「福岡アイランドシティフォーラム」において、第37回定期中央本部大会を開催しました。大会では、執行部から1年間の経過報告や、活動方針、予算案が提起されると共に、全体質疑での討論や、各小委員会においては多くの代議員からの発言があり活発な議論が繰り広げられました。広島地本からは7名の代議員が発言を行いました。最後に中央本部羽野執行委員長の団結ガンバローで閉会しました。

【広島地本発言】

市川書記長

- ①安全について
- ②業務課題について
- ③春闘について
- ④宮島フェリー支部、広島病院支部について
- ⑤政治について



【第一小委員会(組織・財政)】

山崎利幸(山一)

- ①新入社員組合加入説明について
- ②支部の立ち位置について
- ③青年女性委員会の立ち位置について



森岡靖直(広島間接)

- ①統合後の組織運営の難しさ
- ②組織の形骸化
- ③情報共有の制約
- ④複雑な組織構造



高杉裕菜(地本青女)

- ①選挙運動の動員について



【第二小委員会(安全・業務)】

北卓朗(広二)

- ①髪型など容姿に関して個性と公共性の両立
- ②着座勤務の制度化
- ③人材不足解消に向けた魅力ある職場環境の構築



水本尚志(広島間接)

- ①組織の情報伝達手段共有改善
- ②オフィスカジュアルの拡充
- ③人間ドックの制度化
- ④間接部門の業務平準化と週休3日制



JR西日本硬式野球部を激励!

8月6日、JR西日本広島総合グラウンド(広島市)において、中央本部及び各地本代表者が第96回都市対抗野球大会に出場するJR岩男道治(山一)を激励しました。R西日本硬式野球部を激励しました。各地本を代表して石松委員長が、「優勝を目指して精一杯頑張ってください。」と激励の挨拶をしました。初戦は、9月2日の東京ドームにおいてENEOSと対戦します。

岩男道治(山一)

- ①退社時間など柔軟な取組みによるワークライフバランスの改善
- ②分室や管理室の衛生環境の早急な整備



- 吉谷和希(山一)
- ①外国人労働者への安全教育の充実
- ②言語の壁による安全教育が外国人に対して十分にできているか検証を求む!

「マルチ」に要注意!

若者を狙ったマルチ商法が深刻化しています。商品を購入したり、契約金を払って会員になり、知人や友人を勧誘して子会員を増やせば手数料が入って、必ずもうかるという甘い言葉が、世の中をうごめかしています。マルチ商法の本当の怖さは、結局損をするだけでなく、あなたの人間関係をも壊してしまうことなのです。

連載 10

マルチ商法

友達なくすよ!

楽しんでもうかる!?

契約トラブル編

世の中に甘い話はない

マルチ商法は「いいネットビジネスがある」「必ずもうかる」という甘い言葉による勧誘から始まります。そして、最初に商品の購入を迫ったり、高額な契約金を払わせる手口が目立っています。高額なため、業者のいうままにクレジット契約を結んだり、消費性金融や提携ローンから借りてしまうこともあります。学生はとくに狙われやすく、購入資金や契約金を払うために提携ローンに誘導され、返済に行き詰まるケースも。友人や先輩から誘われるのがきっかけですが、最近はインターネットで出資者をつのるケースも増えています。

甘い話は世の中にありません。これはマルチじゃありません。業者は説明する時、たいがい「これはマルチじゃありません」といいます。環境保護、ベンチャービジネスなどと言葉をすりかえ、たくみに誘いますが、入会者を増やせば紹介料や報酬が得られるのはマルチ商法そのもの。親戚や友人を誘って利益を出すのは困難で、必ず行き詰るだけ。しかも友人が子会員になったら、あなたが加害者なのです。